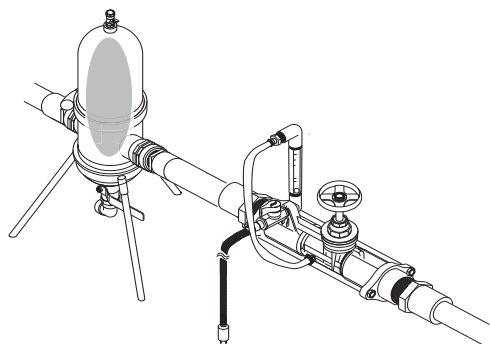


スミチャージ吸引不良時の御確認事項

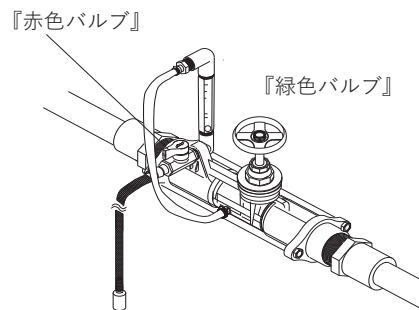
今まで液肥吸引をしていたが、急に吸わなくなった

チェック①： フィルターが詰まっていますか？

チェック②： 操作ミスはありませんか？



フィルター内にゴミが溜まっている場合は、
水量が確保できず、吸引が不安定になります。
フィルターを掃除して下さい



液肥を吸引させる時

『緑のバルブ』： ゆっくりと閉める
『赤のバルブ』： 開く

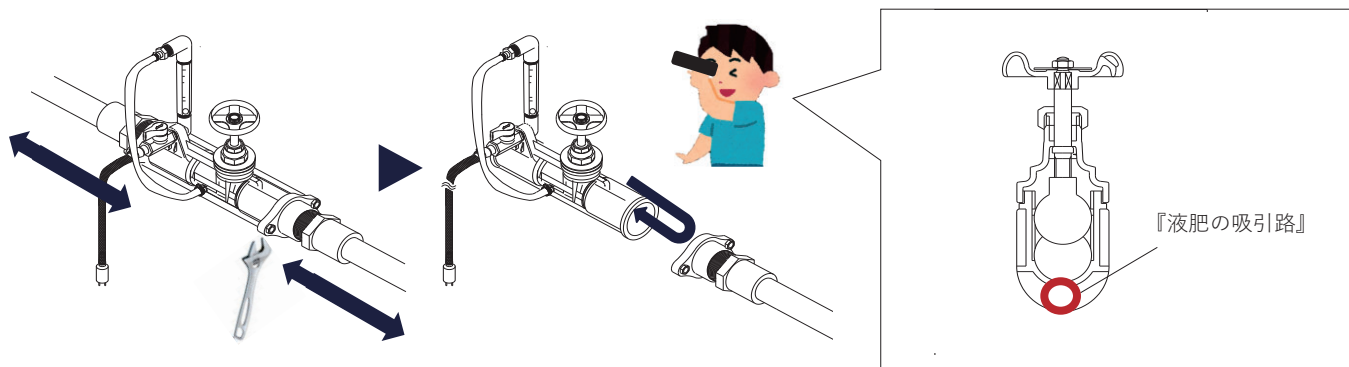
液肥を吸引しない時

『緑のバルブ』： 全開にする
『赤のバルブ』： 全閉にする

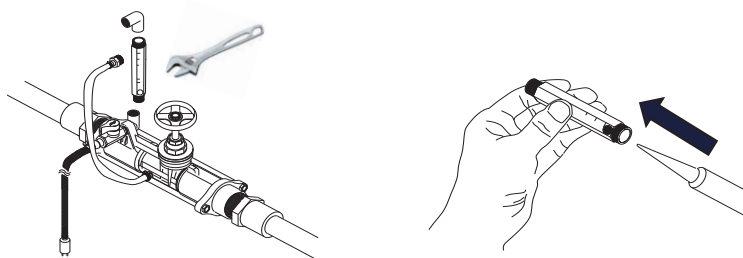
チェック③： 本体内部が肥料成分で固まっていますか？

長ボルトを工具を使用し取り外し、本体の内部を目視して下さい。

『液肥の吸引路』（画像：右側）に液肥や砂などの異物が混入している場合、動作不良が発生します。



チェック④： フローメータが肥料成分で固まっていますか？



フローメータ内部で固着している、
フロート（パチンコ玉）を工具を使い、スムーズに動くようにして下さい

工具を使いフロート部を分解する。
マイナスドライバーなど先端が鋭利なもので
フロート（パチンコ玉）の液肥固着を
取り除き水で洗浄して下さい

※空気が混入しないように、
ネジ部にはシールテープを巻き、
しっかりと接続して下さい。

チェック⑤： ゲートバルブが外れている

(1) バルブの過剰閉止によりゲートが外れ、下図『不良時』のような状況が考えられます。

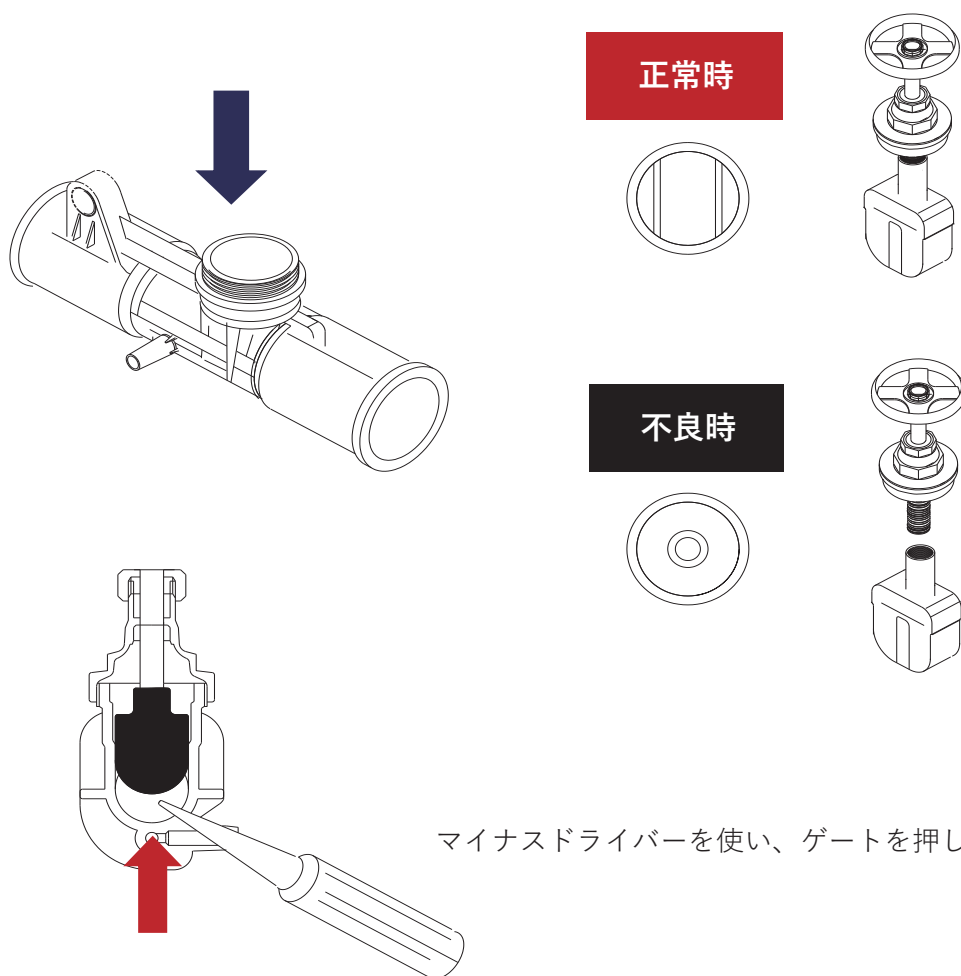
緑色のゲートバルブを工具（モーターレンチ・モンキーレンチ等）を使い取り外してください。

(2) スミチャージ本体を除くと、ゲード（黒塗り部）が管路途中に留まっている可能性が有ります。

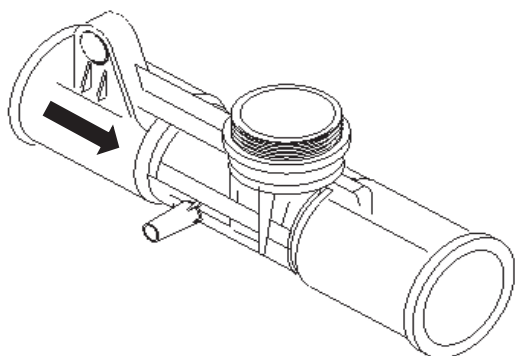
マイナスドライバー等でゲートを上に押し上げるようにするとゲートが外れます。

緑のバルブの棒と、(2)で外したゲートを接続して下さい。本品は左ネジで接続がする機構となっております。

上からのぞくと・・・



チェック⑥： スミチャージの向きは正しいですか？



スミチャージ本体に刻印している矢印の向きが水の流れ方向に正しく設置されていますか？

スミチャージ吸引不良時の御確認事項

新規に設置したが吸引しない

チェック①： 作動条件以上の水が流れていますか？

■ 原因

- ・ 灌水チューブを水量の少ない点滴チューブに変更した
- ・ 点滴チューブが目詰まりしており、水量が不足している

■ 改善策

- ・ 規定以上の水量を確保して下さい

仕様	型式	スミチャージN40	スミチャージN50
適正流量範囲(ℓ/分)		30～300	100～600
液肥吸入量(ℓ/分)		0～2	0～5
接続口径(mmφ)		40	50
本体長さ(mm)		226	285

チェック②： 灌水資材にスプリンクラーを使用していませんか？

■ 原因

- ・ スミチャージは灌水チューブ専用の液肥混入器です。
- ・ 高揚程が必要なスプリンクラーはご使用頂けません。

■ 改善策

末端灌水資材をチューブタイプに変更して下さい

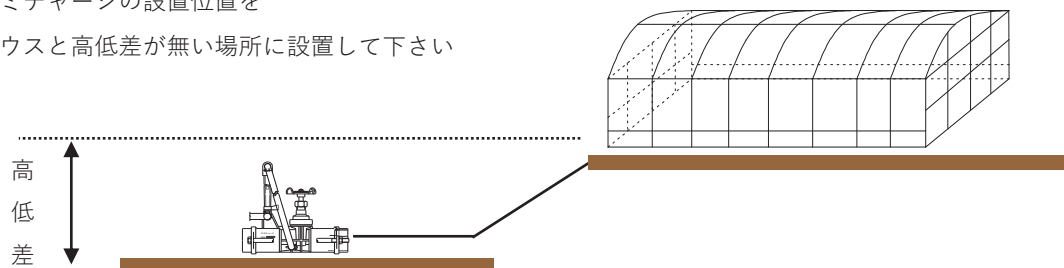


ご使用できない資材（例）

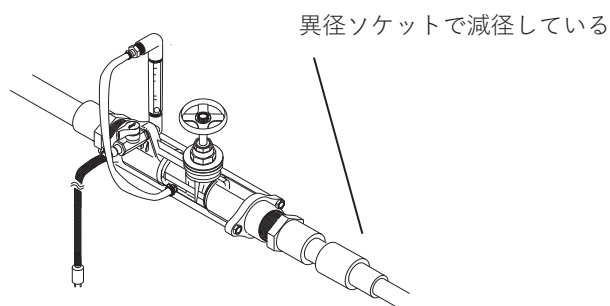
チェック③： スミチャージの位置がハウスより低くはないですか？

■ 改善策：

スミチャージの設置位置を
ハウスと高低差が無い場所に設置して下さい



チェック④： スミチャージ以降の配管が急に細くなっていませんか？



■ 改善策

スミチャージ2次側に背圧が掛かるため、
スミチャージと同径で施工して下さい